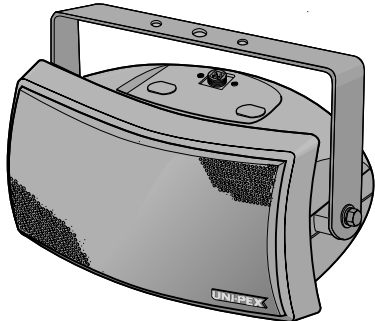


UNI-PEX

取扱説明書

防滴形2ウェイスピーカー

FWS-40T



このたびは、防滴形2ウェイスピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全上のご注意 必ずお守りください

ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、必ず保存してください。

工事業者様へ

設置工事終了後、この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。左図の場合は一般的な行為を指示する表示です。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに使用を中止し、工事店などにご連絡ください。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災・感電・けが・器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



分解/改造はしない

火災の原因となります。修理や点検は、工事店などにご依頼ください。



配線は正しくおこなう

ショートや、誤配線により火災の原因となります。



ケーブル類は引っ張らない

火災や感電の原因になります。



常時振動する場所に取り付けない

振動で金具が破損し、落下によりけがの原因となります。



可燃性雰囲気中で使用しない

爆発する恐れがあります。



過大入力を加えない

火災やけがの原因となります。



通気孔は下向きに取り付ける

雨が内部に入り、火災の原因となります。



防雪対策を施す

積雪の多い地域では、雪の重みで落下してけがの原因となります。





注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

油成分（油煙/油粒）などの多い場所に設置しない 火災・感電・故障・破損の原因となることがあります。	
長時間音が歪んだ状態で使わない スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。	
重量に耐える場所に取り付ける 取付場所の強度が不十分なとき、落下したりしてけがや破損の原因となることがあります。	
通行などの障害となる場所には設置しない 引っかかったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。	
配線は、アンプの電源を切っておこなう 感電の原因となることがあります。	
この機器に乗ったり、ぶらさがったりしない 特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。	
磁気テープなどを近づけない フロッピーディスクやテープなどの情報が消えます。	
定期点検を実施する 定期点検を実施し取り付け状態を確認してください。	

使用上のご注意

FWS-40Tの定格入力40Wです。次のような信号や過大入力時には、アンプのボリュームを下げてください。

ハウリング音 電源スイッチのON/OFF時のショック音 アンプの過大入力（過出力）

アンプの高低音の上げすぎ（音質調節） FM放送の局間ノイズや高域周波数成分を多く含んだ連続音
大出力アンプで使用される場合には、過大入力加わらないよう、アンプのボリュームにご注意ください。
アンプのトーンコントロールやラウドネス、あるいはグラフィックイコライザーを使って低音や高音のレベルを上げてご使用の場合は、通常より大きなパワーがスピーカーに加わりますので、アンプのボリュームにご注意ください。

設置上のご注意

スピーカーを取付ける場合は、スピーカーの重量に十分に耐えられる場所または、補強を施した場所へ設置してください。

尚、取付場所の強度不十分、取付方法の不備による事故に対する一切の責任は負いかねます。

取付金具からの共振、異常音がないか充分確認してください。

接続上のご注意

アンプに接続する際、必ずアンプの電源をOFFにしてください。電源を入れたまま接続しますと、スピーカーが破損することがあります。

スピーカーとアンプの極性を必ず合わせてください。

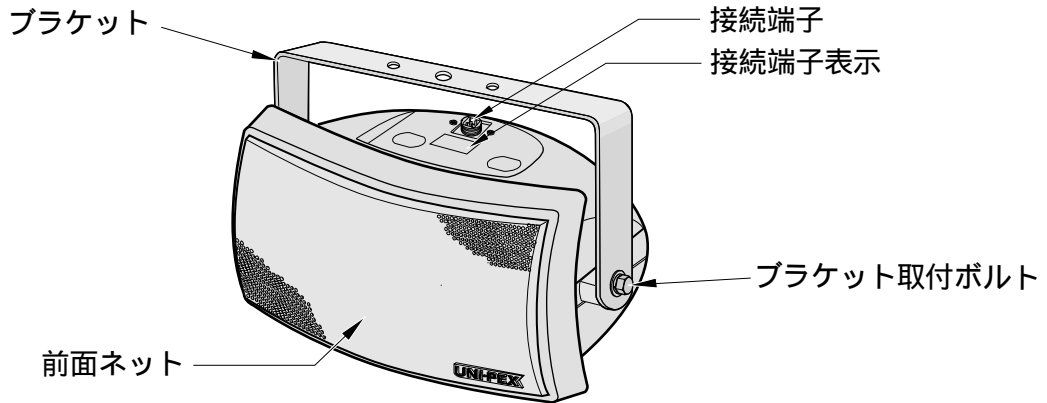
本機のインピーダンスは250 (40W)/330 (30W)/500 (20W)ハイインピーダンスです。接続するアンプの出カインピーダンスを確認してください。

スピーカーユニット保護回路について

FWS-40Tには、連続的な過大入力からスピーカーを守るため、保護回路が組込まれています。

使用中に高音または低音の音量が急に小さくなった場合には保護回路が動作しています。速やかにアンプのボリュームを下げ自動復帰したのち、音量を前より少し下げてください。

各部の名称

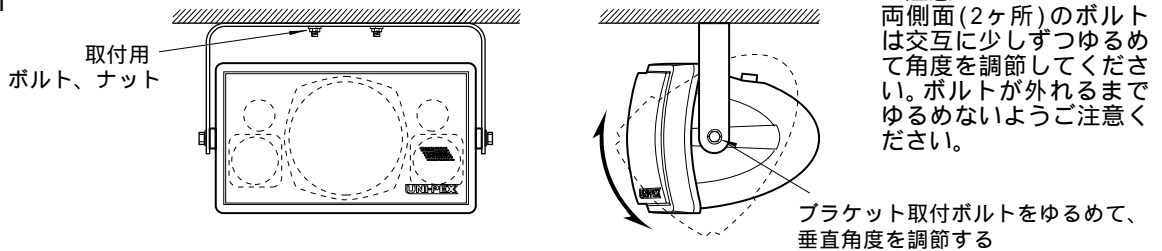


設置のしかた

警告 本機を取り付ける場合は、説明に従って正しく取り付けてください。特にねじ類の締付には充分注意してください。落下によりけがの原因になります。

本機を取付ける場合は取付用のボルトとナットを別途ご用意ください。設置場所に合わせてスピーカーの方向を変える場合は、本機両側面のブラケット取付ボルトをゆるめて調節してください。その後はブラケット取付ボルトをしっかりと締め付けてください。

図1



接続方法

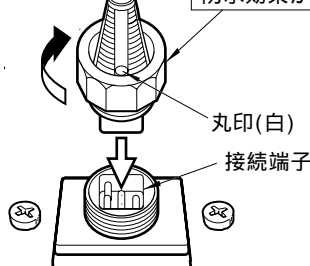
本機に付属のプラグ付コードを接続する場合は下図の要領でおこなってください。
本機の入力インピーダンスは 250/330/500 ハイインピーダンスです。接続するアンプの出力負荷インピーダンスを確認してください。
同じ場所で2個以上のスピーカーを使用される場合は、必ず極性を合わせてください。

図2

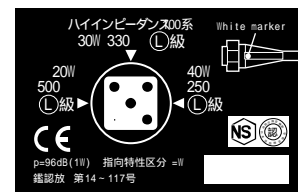
アンプの出力端子 COMへ (白) (黒) アンプの出力端子 (ハイインピーダンス100系)

プラグ付コード (付属)

ナットを強く締めてください。締めつけが充分でないと、防水効果がなくなります。



接続端子表示



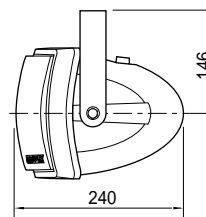
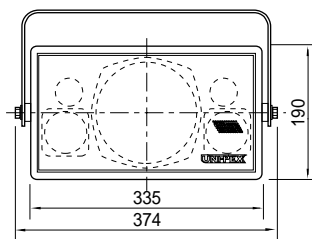
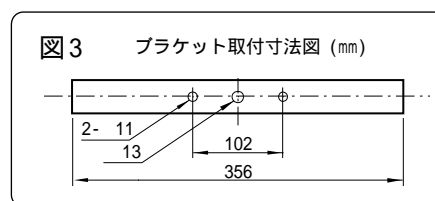
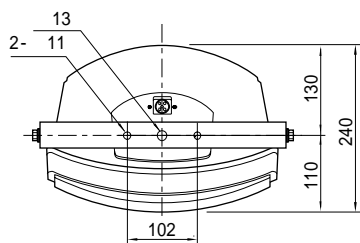
スピーカー本体上部の接続端子付近に接続方法が表示されています。使用されるインピーダンス(W数)の矢印に、付属のプラグ付コードの丸印を合わせて差し込んでください。

定格

形 式	2ウェイ密閉形 (防滴形)
定 格 入 力	40W
定格インピーダンス 非 常 用 種 別	250 (40W)、330 (30W)、500 (20W) [ハイインピーダンス100系] L級 L級 L級
音響パワーレベル	p=96dB (1W)
指向特性区分	W
出力音圧レベル	94dB(1m 1Wにて)
再生周波数帯域	70Hz~20kHz (偏差20dB)
クロスオーバー周波数	3kHz
入 力 機 構	コンセント切替
使用スピーカー	16cmコーン形ウーハー、7cmコーンツイーター 2個
外 装	ケース (PP樹脂)マンセル N1.5 近似色ブラック 半艶 前面ネット (アルミニウム)マンセル N1.5 近似色ブラック 半艶 ブラケット (ステンレス鋼)マンセル N1.5 近似色ブラック 半艶
寸 法 / 質 量	幅335mm 高さ190mm 奥行き240mm / 約 5.4 kg
付 属 品	取扱説明書 1、プラグ付コード 1

外観寸法図

(単位mm)



連絡先のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。販売店に修理を依頼する場合は下記の項目をお確かめください。

品 名 品 番 お買い上げ日 故障の状況 (できるだけ具体的にお願いします)

ご転居されたり、ご贈呈品などで販売店に修理のご相談ができない場合は最寄りの下記弊社営業所にご相談ください。

札幌営業所 〒064-0811 札幌市中央区南1条西 10-2-17 TEL. (011)511-5505(代) FAX. (011)511-5529
 釧路営業所 〒085-0025 釧路市宝町 3-8 TEL. (0154)25-3156(代) FAX. (0154)25-6261
 仙台営業所 〒984-0015 仙台市若林区卸町 3-6-11 TEL. (022)232-1295(代) FAX. (022)232-1297
 東京営業所 〒110-0008 東京都台東区池之端 2-3-17 TEL. (03)3821-3721(代) FAX. (03)3827-5423
 新潟営業所 〒950-0922 新潟市山二ツ 4-6-19 TEL. (025)287-3611(代) FAX. (025)287-3613
 金沢営業所 〒920-0362 金沢市古府 1-190 TEL. (076)240-4577(代) FAX. (076)240-6737
 静岡営業所 〒422-8037 静岡市下島 152-5 TEL. (054)238-1446(代) FAX. (054)238-1453
 名古屋営業所 〒466-0051 名古屋市昭和区御器所 1-3-29 TEL. (052)871-1671(代) FAX. (052)872-4128
 大阪営業所 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 4-2-7 TEL. (06)6632-2855(代) FAX. (06)6644-1624
 岡山エリア連絡先 TEL. (086)244-2317(代) FAX. (086)244-4461
 高松営業所 〒760-0079 高松市松縄町 525-1-203 TEL. (087)868-1181(代) FAX. (087)868-1331
 広島営業所 〒730-0016 広島市中区鞆町 5-29 TEL. (082)222-5511(代) FAX. (082)222-5513
 福岡営業所 〒810-0074 福岡市中央区大手門 3-9-15 TEL. (092)721-5000(代) FAX. (092)721-5089
 鹿児島営業所 〒890-0052 鹿児島市上之園町 8-12 TEL. (099)250-0220(代) FAX. (099)257-3327

ユニペックス株式会社

本社/営業本部 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近 3-6
 お客様相談窓口 (CS課) TEL. (072)855-3334

RKTFWS40T-H0-1